

板取川中学校区 学校再編だより 最終号

関市教育委員会事務局教育総務課
TEL:0575-23-7722(直通)
E-Mail:somu-edu@city.seki.lg.jp

～これまでのご支援、誠にありがとうございました～

令和8年4月1日、板取小学校と洞戸小学校が再編し、新たに洞戸小学校としてスタートいたしました事を、ご報告させていただきます。

洞戸・板取学校再編準備委員会委員長のご挨拶

新緑がまぶしく、風薫るさわやかな季節になりました。

洞戸小学校、板取小学校が再編され、4月7日には新たな洞戸小学校として全校生徒59名で出発式を迎えることができました。式の中で板取・洞戸それぞれの児童代表が元気に出発宣言をする姿にとっても感動しました。あの光景は今でも心の中に残っています。

学校再編準備委員会では、板取川中学校区に小中学校を残すという目標を持ち、再編後に子どもたちが安全に通える学校、保護者や地域の皆様が将来に希望が持てる学校に再編したいという強い意志がありました。具体的には板取地域からの通学方法やPTA組織、最適な教育環境の実現に向けての提案や協議が熱心に進められ、この地域の未来に向けてより良い再編に繋げることができたと思っております。

私も準備委員長という立場で関わり、この地域に学校を存続させることの使命感と重要性を再認識する機会となりました。

最後になりますが、学校再編に向けてご尽力いただいた準備委員会、学校関係者の皆さま、そして地域の皆さまのご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

洞戸・板取学校再編準備委員会委員長 桑原 直樹

旧板取小学校校長のご挨拶

洞戸小での交流日には、子供たち、先生方がいつも笑顔で迎えてくださり、安心して交流することができました。生き生きのびのびとした教育活動が洞戸小で進められており、学年の枠をこえて子供たちが仲良くできる本当に素敵な学校だと思いました。板取の子供たちには、多くの出会いを通して、また一回り成長してほしいと思います。そしてこれからも板取を心のふるさととして、自分の良さを発揮してほしいと思います。

学校再編に際し、再編準備委員会、閉校記念事業実行委員会の皆様をはじめ、地域の皆様にご大変お世話になりました。ありがとうございました。

旧板取小学校校長 新家 哲郎

板取小学校沿革史

明治6年	新盛学校、門出学校、三余学校を設置 保木口・島口に三余学校分教室を設置
明治9年	白谷・門出・岩本・保木口・島口が簡易小学校になる
昭和43年	白谷小学校、門出小学校が再編し、板取第一小学校が発足
昭和53年	中切小学校、島口小学校が再編し、板取北小学校が発足
平成9年	板取第一小学校、板取北小学校が再編し、板取小学校が発足
令和8年	洞戸小学校と再編し、板取小学校閉校

洞戸小学校校長のご挨拶

板取川地区の小学校が1つになり、板取・洞戸地区の子ども達が一緒に学び始めました。

多くの方に、学校再編にご協力いただき、令和7年度は一か月に一度の割合で合同授業や合同校外学習を行うことができました。

そのおかげで、令和8年4月には無事「新・洞戸小」をスタートすることができました。出発に際し、両地区の児童代表が「一緒に素敵な洞戸小を作っていきます」と宣言してくれました。

これから、児童の数は年々減少する一方ですが、それぞれの学校でつないできた伝統や宝物の「いいところ取り」をし、地域・保護者と学校が力を合わせ、新たな伝統を作っていきます。

洞戸小学校校長 岡田 みどり

洞戸小学校沿革史

明治6年	文昌義校を開校
明治31年	村内の学校を再編し、洞戸尋常小学校と分校5校を開校
明治41年	奥洞戸尋常小学校が独立
昭和22年	洞戸尋常高等小学校が洞戸小学校へ改称
昭和35年	奥洞戸尋常小学校が洞戸北小学校へ改称
昭和63年	洞戸小学校、洞戸北小学校が再編し、洞戸小学校が発足
令和8年	洞戸小学校、板取小学校が再編し、洞戸小学校が発足

関市教育長のご挨拶

令和8年4月1日に、板取小学校と洞戸小学校が再編され、新生「洞戸小学校」として新たなスタートを切ることができました。教育長として、この喜びを地域の皆様と分かち合えますこと、心より光榮に存じます。

令和7年2月に「洞戸・板取学校再編準備委員会」が発足して以来、約1年間の活動を経て、皆様の深いご理解と多大なるご協力のもと、無事に学校再編を完了することができました。

この間、委員会の皆様には、学校の未来を見据え、熱心なご議論を重ねていただきました。

そして、地域の皆様には、再編の趣旨にご賛同いただき、温かいご支援を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

今回の再編により、平成9年に板取第一小学校と板取北小学校が再編し、長きにわたり地域の教育を支えてきた板取小学校は、その歴史に一旦幕を閉じました。

しかし、その輝かしい歴史と伝統は、新生洞戸小学校へと確かに引き継がれ、新たなページを刻んでいくこととなります。

新たなスタートを切った洞戸小学校が、子どもたちにとって希望に満ちた学びの場となり、地域の皆様と共に未来を創造し、発展していくことを心から願っております。

引き続き、皆様の温かいご理解と力強いご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

関市教育長 森 正昭